

うご しょう
動きと思考

2024/7/1

No.25

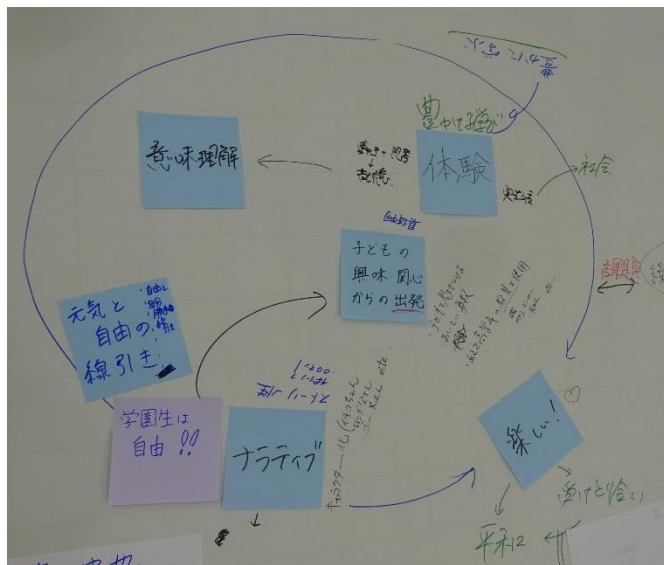
岩渕和信

ほう か ご きょういん ぜんかい はるやす
放課後の教員ワークショップ。前は春休みでした。あ
れから 3 ヶ月。先生たちの「初心を語る会 その2」が行
われました。

こんかい
今回のテーマは、「本校の授業で大切にすべきこと」。
ある 4 人の対話を見てみましょう。



ぐたいぶつ だいじ
「具体物って大事ですね」「うんうん」「おいしい算数もそうですね」「ああ、足し算で
も金魚を本当にすくって入れたりとか」「そうそう水もバケツリレーして計算したりとか」
「だから、具体物があるから体験がついてくる」「うん」「実際にやってみようっていうね」
「動きと、思考が、セットっていうか、ついてくる。記憶に」「計算の仕方っていうのも、
あれをこうしてやってみてこうだったから、っていうね」「そうそう、実際にあのカップで
数えたじゃんみたいな対話でね、あ、そう
かって。紙だったら全然そうはいかない」
「実生活の中の学び」「それって当然のよう
に大事にしてきたよね」「こないだ重さをや
るのに、ちょうど辞書が 1kg だって発見し
た子がいて、じゃ 1kg ってこれくらいだね
ってなって、それで辞書より重いのは 1kg
より上だって、」「おー！」



きょうし ひとり かちかん こうしん
教師 4 人それぞれの体験が語られ、それぞれが別々に大切にしてきたことが共鳴し合い、
影響して、影響されて、一人一人の価値観を更新していきます。それが全体のアップデート
になってゆく。

おな
授業と同じです。

誰かが加工した二次情報ではなく、

自分の人生で一度だけ立ちのぼる一次情報に触れること。

(米田智彦)